



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めることがあります。
公告方法	電子公告 (https://ncsa.jp)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
(インターネット) (ウェブサイトURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、お取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。
なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

第59期定時株主総会の決議結果について

2025年6月20日開催の当社株主総会において報告及び決議された内容につきましては、当社ウェブサイト (<https://ncsa.jp/ir/shareholder>) に掲載しておりますので、ご参照ください。

■ ウェブサイトのご案内

ウェブサイトで当社の事業活動、サービス案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。ぜひご活用ください。



<https://ncsa.jp>



NCS&A 株式会社



ユニバーサルデザイン (UD) の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



NCS&A

証券コード：9709

NCS&A REPORT | 第59期 | 報告書

2024年4月1日~2025年3月31日



Grow on with Clients,
now and forever





新たな技術に果敢に挑戦しながら、
しなやかな発想で価値ある
ITサービスを提供し続ける企業へ

*Grow on with Clients,
now and forever*

代表取締役社長
辻 隆博

CONTENTS

トップメッセージ	01
トピックス	07
連結財務諸表（要約）	09
会社の概況／株式の概況	10

株主の皆様には、平素より格別のお引き立てとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結の業績と取り組みの状況をご報告申し上げます。

2024年度は、企業の投資意欲の高まりを背景に、主力ソリューションやマイグレーションの受注が堅調に推移いたしました。また、受託開発の利益率や受注条件の改善とともに、経費削減の取り組みを進めた結果、営業利益は過去最高益を更新いたしました。

2025年度は、中期経営計画（2024年度～2026年度）の2年目です。企業価値を向上させることにより、真に社会から必要とされる“NCS&A”にするために、

実行スピードを加速させたいと考えております。他社との差別化を図るため、既存事業の強化を行います。社内スタートアップ制度は継続し、信頼できる相手と互いにリスクをとった協業ビジネスを進めます。健康経営宣言のもと、社員が安心して意見を出せる多様性を尊重する企業風土を作り上げるため、DE&Iを推進します。社会貢献活動及びサステナビリティへの取り組みにより、企業価値の向上を促進します。

NCS&Aグループは、これからもテクノロジーの変化を積極的に取り入れ、時代を先取りした商品やサービスを作り続けることで、お客様の発展とともに成長を続けます。

第59期連結業績

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
204 億 93 百万円	19 億 93 百万円	21 億 9 百万円	21 億 9 百万円
〔前期比 15 億 85 百万円増加〕	〔前期比 3 億 55 百万円増加〕	〔前期比 3 億 49 百万円増加〕	〔前期比 5 億 72 百万円増加〕

Q 当期（2025年3月期）の経営環境と取り組みについて説明してください。

A 「真に世の中から必要とされる会社」を目指し、主力ソリューションの強化と「社内スタートアップ制度」による事業創出活動を積極的に推進しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかに回復し、企業の設備投資においても持ち直しの動きがみられる一方で、地政学的リスクが資源価格等に与える影響、国内外の金融情勢の動向や中国経済の先行き懸念などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業におきましては、デジタル活用が社会に定着化したことや労働力不足を背景とした業務効率化に向けたIT活用の重要性が高まりを見せていること、また、経済産業省が警鐘を鳴らした「2025年

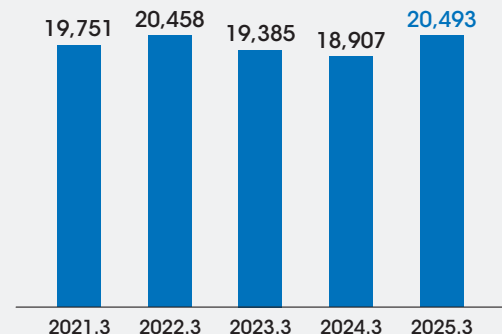
の崖」を背景に、古い基幹業務システムを刷新する動きが活性化していることから、IT投資は引き続き堅調に推移するものと考えられます。

このような環境のもと、当社グループは「真に世の中から必要とされる会社」を目指して、成長に向けた積極的な投資として主力ソリューションの強化と「社内スタートアップ制度」（研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動）による事業創出活動を積極的に推進しております。

社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進への寄与に向けて、自治体向け給付金システム「The給付」においては、国や地方自治体が支給する各種給付金制度への迅速な対応を行うことで、市民サービスとして素早い給付が実現する点を評価され、また、家賃債務保証基幹システム「Guras（グラス）」では、家賃債務保証制度の利用率が上昇するに伴い、より多くの契約者の管理を迅速・確実に行うための機能の追加や画面UI

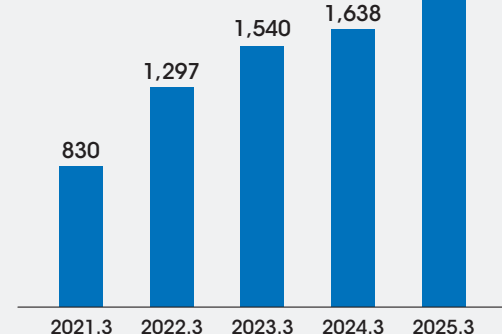
売上高

(百万円)



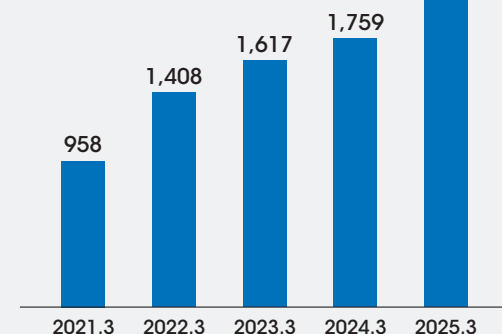
営業利益

(百万円)



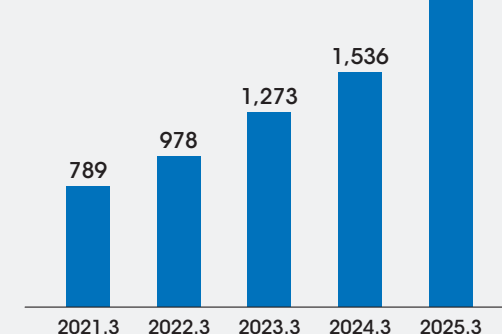
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



(ユーザーインターフェース)の改善による見やすさの向上を図ることで幅広い規模のお客様に導入いただき、売上は堅調に推移いたしました。また、研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動として2020年度下期から実施している「社内スタートアップ制度」で採用され開発を始めた取り組みとして、社内で運用するセキュリティ・ネットワーク・ハードウェア・システムサービスの稼働状況をまとめて一画面で可視化し、問題発生時には状況把握をスムーズに行うことのできる統合情報モニタ基盤「ScopNeo(スコップネオ)」を2024年6月にリリースするなど、特定の業種に限らずシステムを運用するお客様が共通して抱える課題を解消するためのソリューションを提供することでDX推進に向けた取り組みを積極的に行っ

ております。従業員に対しては資産形成の一助とすることに加えて企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして2024年7月より従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度を導入しました。また、すでに導入しているフェムテックサービスには「月経プログラム」に続き2024年7月より「更年期プログラム」を追加し、「生き生きと活躍できる環境の構築」を継続して進めております。



当期(2025年3月期)の成果を聞かせてください。

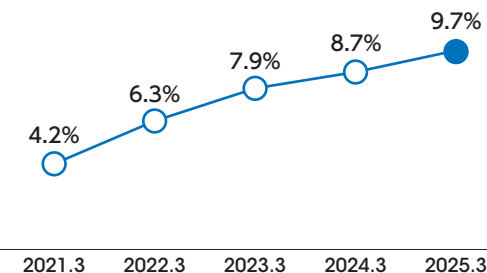


自社製品によるソリューションと大手Slerからの受託開発が順調に推移し、売上高が増加しました。

自社製品によるソリューションにつきましては、マイグレーションサービスの外資系保険会社向け大型案件やアライアンス先との協業案件の売上高が増加し、また、情報システム可視化ソリューション「REVERSE PLANET(リバースプラネット)」、個人情報情報接続サービス「Ccms(シーシーエムエス)」などが順調に推移いたしました。

システムの設計・開発から導入後の運用・保守までをワンストップで提供するシステムインテグレーションサービスにつきましては、中堅・中小マー

売上高 営業利益率



ケットにおけるシステム投資意欲の高まりを受けながらも、制度変更などの大きな需要のない中において、売上高は前期に比べ微減となりました。

大手Slerからの受託開発につきましては、前期に引き続き当社の得意領域にリソースを集中させ、また、受注条件の改善に努めるなど収益性の向上

に取り組んでおります。

Q 当期(2025年3月期)の業績について説明してください。

A 売上高は堅調に推移し、営業利益は過去最高益を更新いたしました。

当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は前期に比べ15億85百万円増収の204億93百万円となりました。利益面につきましては、利益率の高い自社製品によるソリューション及び高収益案件への注力を続けることにより営業利益は前期に比べ3億55百万円増加の19億93百万円、経常利益は前期に比べ3億49百万円増加の21億9百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当期末に繰延税金資産を計上したことにより、前期に比べ5億72百万円増加の21億9百万円となりました。

Q 今後の取り組みについて聞かせてください。

A 「稼ぐ力の強化」、「人材への積極投資」及び「企業価値の向上」を基本方針に、景気の変化により大きな影響を受けることのないよう自立します。

次期の見通しにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続き、設備投資

につきましても堅調な企業収益等を背景に持ち直し傾向が続くことが見込まれます。また、大阪・関西万博による経済効果も期待されます。

国内の企業においては、IT活用の取り組みはコロナ禍をきっかけとした事業継続を目的としたものから、生産性向上や新しいビジネスモデルの構築など事業変革を目的としたものへと変化する動きがみられております。また、経済産業省の「2025年の崖」の警鐘を背景に、企業における老朽化、肥大化、複雑化及びブラックボックス化している古い基幹業務システムを刷新する動きは引き続き活発であり、2025年以降も継続すると見込まれます。さらに、企業におけるIT活用の重要性は大企業だけではなく、インボイス制度や電子帳簿保存法対応といった法規制対応や人手不足の深刻化を契機として、生成AIの利用をはじめとしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の浸透が進み、中堅・中小企業にも広がりをみせていることから、IT投資は中長期的に拡大していくものと認識しております。

しかしながら、アメリカによる相互関税政策による日本経済への影響は輸出産業のみならず、幅広い業種にわたると予測され、また、その影響度合いも大きいと考えられます。コロナ禍からの復調気配、及び、賃上げムードに水を差すものであり、景気は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような環境のもと、「稼ぐ力の強化」、「人材

への積極投資」及び「企業価値の向上」を基本方針に景気の変化により大きな影響を受けることのないよう自立し、当社グループは真に社会から必要とされる企業を目指して、以下の施策を実施してまいります。

- ・自社ソリューションの機能強化に対して積極的な投資による商品の差別化やマイグレーション事業の同時稼働数を増やすなど、既存事業から持続的な成長余地を見出します。
- ・将来に向けた成長基盤の獲得を目指し、生成AIなどの新しい技術を活用した新規事業の創出や信頼できる相手と互いにリスクを取った協業ビジネスに取り組んでまいります。
- ・人への投資として、多様な人材が個性を生かし合い活躍できる環境整備について検討し、取り組みを継続してまいります。

2026年3月期 連結業績予想(前期比)

売上高	207億円 (1.0%増)
営業利益	22.5億円 (12.8%増)
経常利益	23.6億円 (11.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	15.6億円 (26.0%減)

Q 2026年3月期の見通しについて聞かせてください。

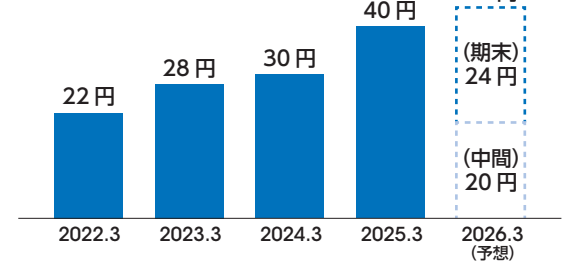
A 売上高207億円、営業利益22億50百万円を見込んでいます。

2026年3月期の業績予想につきましては、売上高207億円(前期比1.0%増)、営業利益22億50百万円(同12.8%増)、経常利益23億60百万円(同11.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益15億60百万円(同26.0%減)を見込んでおります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

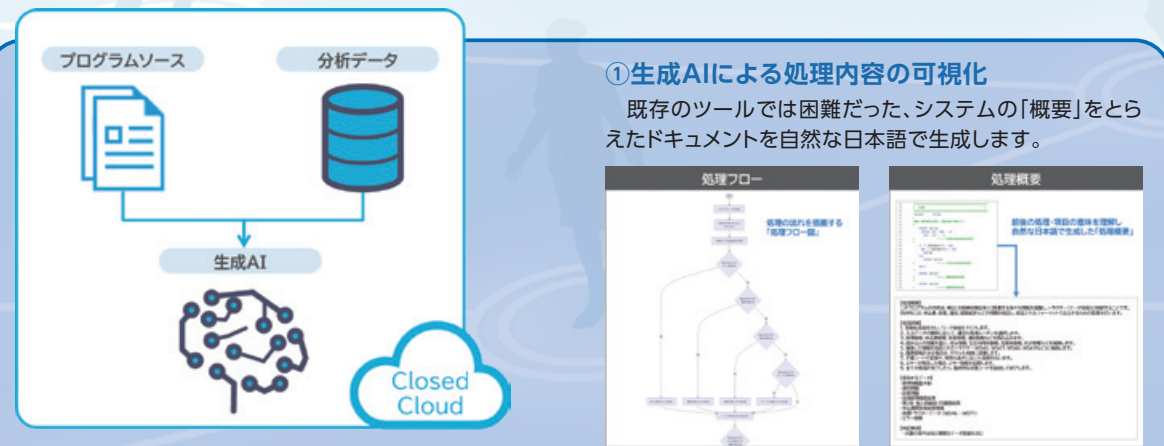
配当金の推移

当社はこれまで年1回の期末配当を実施して参りましたが、今般、中長期的な株式価値向上と株主の皆様への利益還元を機会を充実させることを目的として、2026年3月期より、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行うこといたしました。



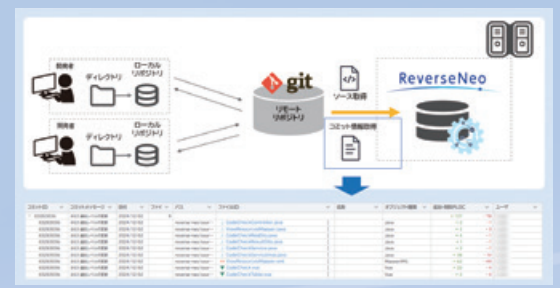
Topics1 ReverseNeo 2.0リリース

<ReverseNeo> (リバースネオ) は、システム資産を機械的に分析し、ダッシュボードによる統計情報の表示、一覧により資産把握、ダイアグラムによる構造・影響分析を可能とした、情報システム部門の開発・保守業務を効率化する可視化ツールのニューノーマルです。
2025年4月、生成AIを活用した新機能を含む「ReverseNeo2.0」をリリースしました。



②Git連携機能

Git連携により、ソースの変更履歴はもちろん、何のために行われた修正なのか等も確認することができるようになりました。



③履歴管理機能

ソースの変更履歴を一覧で表示します。また、ダッシュボードで変更の推移等の情報を参照できます。



Topics2 カレンダー写真コンテストの開催

昨年度より、社内コミュニケーションの活性化を目的に、社員から風景写真を募集するコンテストを開催し、応募作品の中から「NCS&A壁掛けカレンダー」を作成しています。現在、2026年のカレンダー発行に向けて、プロジェクトは進行中です。当社のオリジナルカレンダーとして、お客様にも配布しています。

2025年のカレンダー



健康経営優良法人2025に認定



当社は、経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。昨年に続き、2年連続の認定となりました。
写真コンテストと並行し、当社の健康増進の取り組みの一環として、社員に配布しているスマートバンドを使ったウォーキングイベントも随時開催しています。社員の間で歩数の情報を共有し、ゲーム感覚で楽しみながらコミュニケーションを深めています。

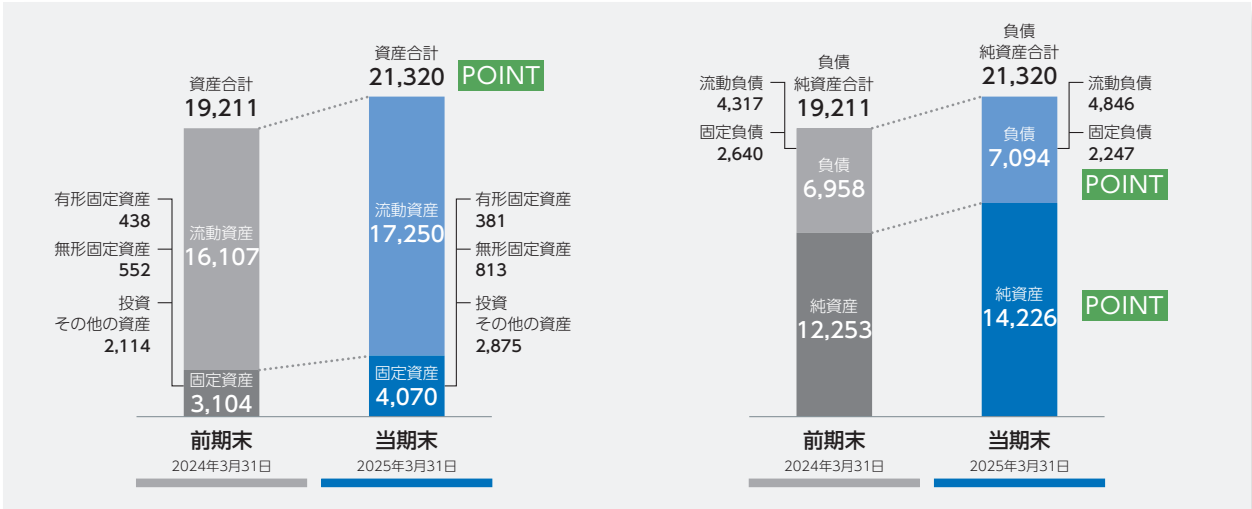


連結財務諸表(要約)

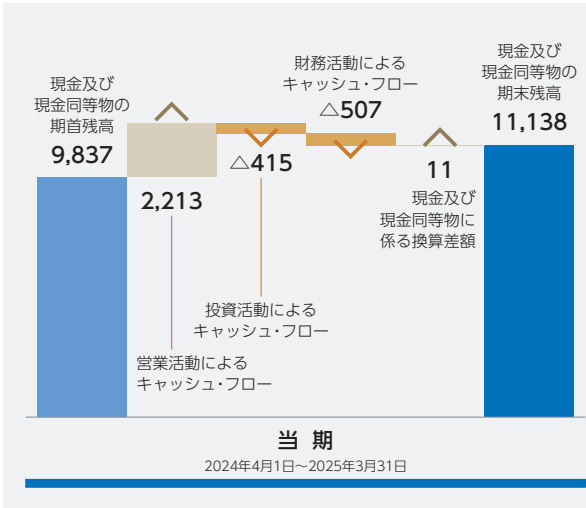
Consolidated Financial Statements



連結貸借対照表 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円) POINT



POINT

資産 現預金・売掛金・商品・無形固定資産・繰延税金資産等の増加に対し、契約資産・有形固定資産等の減少の結果、総資産は21億8百万円増加しました。

負債 買掛金・未払法人税等・賞与引当金等の増加に対し、契約負債・退職給付に係る負債等の減少の結果、負債は1億35百万円増加しました。

純資産 利益剰余金・退職給付に係る調整累計額等の増加の結果、純資産は19億73百万円増加しました。

キャッシュ・フロー 税金等調整前当期純利益の計上に対し、法人税等の支払、無形固定資産の取得、配当金の支払等の結果、現金及び現金同等物は13億1百万円増加しました。

会社の概況/株式の概況

Corporate Profile / Stock Data



会社概要 (2025年3月31日現在)

商号 NCS&A株式会社(英文表記：NCS&A CO.,LTD.)
設立 1966年9月21日
代表者 代表取締役社長 辻 隆博
資本金 37億7,510万円
従業員数 1,219名(連結)
事業所 ■本社 〒530-6112 大阪市北区中之島3丁目3番23号
■難波オフィス 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目2番3号
■新大阪オフィス 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目5番41号
■尼崎オフィス 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1丁目2番6号
■東京本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目2番3号
■汐留オフィス 〒105-7309 東京都港区東新橋1丁目9番1号
■大井町オフィス 〒140-0014 東京都品川区大井1丁目28番1号
■名古屋支社 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号
子会社 ■エブリ株式会社
■NCSサポート&サービス株式会社
■恩愛軟件(上海)有限公司

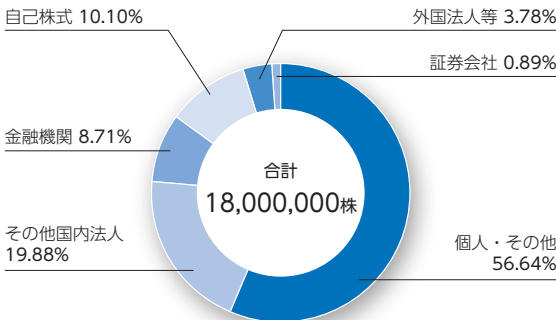
役員一覧 (2025年3月31日現在)

● 取締役		● 執行役員	
代表取締役会長	松木 謙吾	執行役員常務	小林 裕明
代表取締役社長	辻 隆博	執行役員常務	山本 貴子
社外取締役	大森 京太	執行役員常務	森本 豊
社外取締役	團 博己	執行役員常務	礒野 政弘
社外取締役	後藤 祐子	上席執行役員	武田 秀樹
● 監査役			
監査役	越智 みさき		
社外監査役	吉川 興治		
社外監査役	大西 祐子		

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 18,000,000株
株主数 3,966名

所有者別株式数分布



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ZEN	1,851	11.44
明治安田生命保険相互会社	1,061	6.56
丸山 幸男	947	5.86
NCS&A従業員持株会	446	2.76
アイ・システム株式会社	403	2.49
梶川 融	399	2.47
株式会社クリナム	398	2.46
日本金銭機械株式会社	381	2.35
山田 欣吾	350	2.17
ヨシダ トモヒロ	345	2.13

(注)当社は自己株式1,818千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
持株比率は自己株式を控除して計算しております。